

聞いてみよう!

キンギョはなぜ海がきれいなのか?

—魚の浸透圧調節研究とその応用—

いよいよ夏もうすぐ。夏祭りなどで手に入れた金魚は家庭の水槽でも飼うことができ、生き物に触れる貴重な機会ですね。

魚類をはじめ、水生動物は、川、湖沼、汽水、海など多様性に富んだ水環境に適応し、効率的に再生産を行うことで、現在のように繁栄してきました。

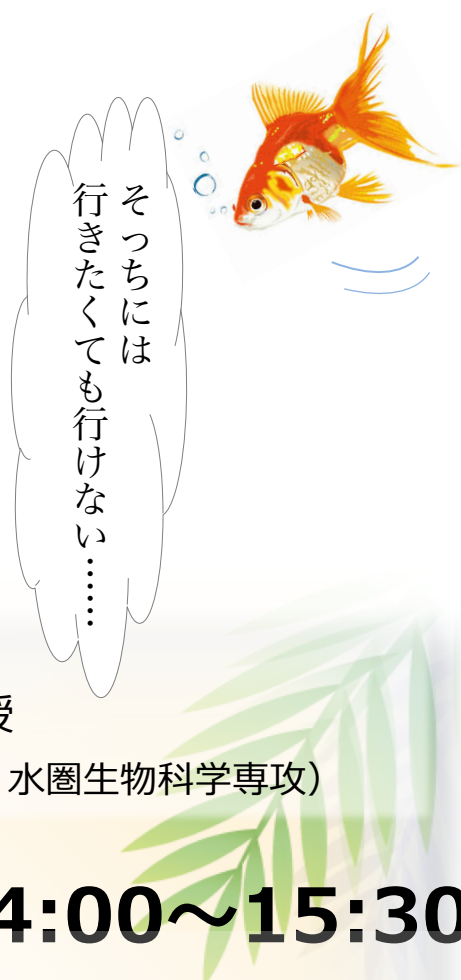
なぜサンマやイワシは淡水で生きられず、キンギョやコイ、フナは海水に適応できないのか。ウナギやサケなどはなぜ海と淡水を行き来して平気なのか。魚の不思議には興味が尽きません。

当大学 農学生命科学研究科 水族生理学研究室で、魚たちの浸透圧調節機能についての研究と、その水生生物資源確保への応用に取り組む 金子豊二さんにお話を聞きます。




話題提供者 金子 豊二 教授

(東京大学農学生命科学研究科 水圏生物学専攻)




2017年7月11日(火) 14:00~15:30

 定員 20人(対象：中学生以上、申込み先着順)

 場所 東京大学農学部・フードサイエンス棟地上1階「カフェアグリ101」
東京メトロ南北線「東大前」徒歩7分

 参加費 無料
ただし、飲み物(300円程度)は各自カフェにてご購入いただきます。

 申し込み ホームページにてお知らせします。詳細は裏面をご覧ください。

主催：東京大学大学院農学生命科学研究科附属食の安全研究センター

申し込み方法

このご案内の一番下にあるURLからホームページをご覧になり、第27サイエンスカフェのご案内ページにある「お申し込みはこちら」からお申し込みください。

締め切りは**2017年7月4日（火）**です。開催の2~5日前に詳しいご案内メールをお送りしますので、メールアドレスは正確にご入力ください。センターよりお知らせメールを正しくお送りいたしましても、お申し込みされた方のメールの設定により届かない場合があるようです。ドメイン名「frc.a.u-tokyo.ac.jp」からのメールを受信できるよう、あらかじめ設定のご確認をお願いいたします。

障害等のため、設備、情報保障等の配慮が必要な場合は、ご参加の申込時にメール等でその旨ご連絡ください。

会場の場所

〒113-8657 文京区弥生1-1-1 フードサイエンス棟地上1階「カフェアグリ101」
東京メトロ南北線「東大前」下車、徒歩7分



申し込み・問い合わせ先

ご不明な点は、メール等でお問い合わせください。

TEL : 03 (5841) 0916、メール : shokuhin@frc.a.u-tokyo.ac.jp

東京大学大学院農学生命科学研究科附属食の安全研究センター

★ホームページURL : <http://www.frc.a.u-tokyo.ac.jp/>

★フェイスブック : <https://www.facebook.com/UTokyo.foodscience>